

# 有森博 ピアノリサイタル

Hiroshi Arimori Piano Recital

## Program

スクリャービン:10のマズルカ作品3より第1番～第6番

コセンコ:古い舞曲の様式による11の練習曲作品19より

第1番ガヴォット 変ニ長調、第10番パッサカリア ト短調

プロコフィエフ:ピアノソナタ第1番 短調作品1

プロコフィエフ:ピアノソナタ第2番 短調作品14

プロコフィエフ:ピアノソナタ第3番 短調作品28「古い手帳から」

ロシア音楽の白眉、有森博がロシアとウクライナの珠玉の作品でリサイタルを行う。今やロシアのピアノ音楽を語る上で欠かせない有森は20代後半からロシア音楽に魅せられ、ナターリヤ・スースロワのもと研鑽を積んだ。スースロワといえば名ピアニスト、ウラディーミル・アシュケナージも輩出したレフ・オポーリン門下であり、ロシアン・ピアノの継承者のひとり。その血脈を引く有森が今回、自身も舞台初となるヴィクトル・コセンコ、演奏機会の少ないスクリャービンの作品3のマズルカ、そしてプロコフィエフの初期のソナタ3作品に取り組む。ロシアの、そしてウクライナの作風とは——音楽を通じ、まさに今揺れ動く両国の歴史とその作曲家の創作の源に迫るひとときとなるだろう。

音楽ジャーナリスト 正木裕美

2022.9/26 月 19:00開演  
(開場18:30)  
宮城野区文化センターパトナホール

〒983-0842 宮城県仙台市宮城野区五輪2-12-70  
JR仙台駅から仙石線下り方面行きで6分、陸前原ノ町駅下車すぐ

| チケット | 一般4,000円 学生 3,000円 (当日券は各500円増し)

| プレイガイド | カワイ仙台 宮城野区文化センター

| お問い合わせ | 株式会社S.A.musicking Tel. 050-5435-6395



【主催】 株式会社 S.A.musicking (エスエーミュージッキング)

【後援】 一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会 / 公益財団法人 仙台市市民文化事業団  
株式会社ヤマハミュージッククリエティング仙台店 / カワイ仙台

# Hiroshi Arimori Piano Recital

音楽を通じ、  
まさに今揺れ動く  
両国の歴史とその作曲家の  
創作の源に迫る  
ひとときとなるだろう。

## 有森博 プロフィール

1992年東京藝術大学大学院修了。その後モスクワにて研鑽を積み現在に至る。これまでに野上登志子、水本雄三、小林仁、ナターリヤ・スースロワの各氏に師事。1990年第12回ショパン国際ピアノコンクール最優秀演奏賞。1991年岡山県芸術顕彰を受賞。1992年第5回シドニー国際ピアノコンクール第4位。1994年第10回チャイコフスキー国際コンクールピアノ部門入賞。1996年から2000年にかけてラフマニノフのピアノ作品全曲演奏会を成し遂げ、2001年にはプロコフィエフのピアノソナタ全曲演奏会を成功させるなど、ロシア作品に積極的に取り組む活動を展開し、ロシア音楽のエキスパートとして高い評価を受ける。1995年、2001年に小澤征爾指揮新日本フィルと協演の他、日本フィル、東京シティフィル、読売日響、九響、関西フィル、山形響、仙台フィル、神奈川フィル、東フィル、芸大フィル、ワルシャワフィル、ポーランド放送響などの内外の主要オーケストラ、著名指揮者との協演を重ねる。2004年には小澤征爾指揮サイトウキネンオーケストラのメンバーとしてヨーロッパ6カ国ツアー及び日本公演に参加。これまでにソロアルバムで19枚のCDがリリースされ、カバレフスキーとラフマニノフの全曲録音が進行中。「展覧会の絵」、「カバレフスキー」、「チャイコフスキーにつつまれて」、「ロシアバレエの誘惑」、「メトネルの時間」、「ラフマニノフ変奏曲集」、「音楽の玉手箱2〜露西亜秘曲集」他、その多くが特選盤に推薦されている。現在、国内外での活発な演奏活動の他、ロシア作品によるリサイタルシリーズを、東京文化会館、エスパスホールにて行っている。東京藝術大学音楽学部教授。大阪音楽大学特任教授。

公式ホームページURL [arimori.info/](http://arimori.info/)



株式会社 S.A.musicking 「東北の音楽をより元気に」

〒981-0934 仙台市青葉区新坂町16-7 <https://www.sa-musicking.com>

